

温故創新の着眼で、新たな時代を拓く

市長メッセージ



2024年、甲辰の今年、5月1日に多久市は市制施行70周年を迎えます。

これまでの歩みの折々に多くの方々に多様なご尽力を賜り、進んで参りました。これよりは温故創新の着眼で、先人と歴史に感謝し、新たな時代を拓くことが肝要です。

大きなプロジェクトはもとより重要ですが、市民の皆様の日々の暮らしに大切な事についても、できることから始め、できる限りの努力を怠りなく努めることも不可欠です。

例えば、健康を育むことを重んじ、特定健診実施率・特定保健指導率の向上に努め、多久市は双方で全国2位となり、厚生労働大臣から高く評価されました。市民の皆様のご協力と関係職員の努力の賜物です。市民の生命財産を守ることは政治行政の基本的使命ですから、今後も市民の皆様が日々健康で暮らせるようコツコツ努めます。

このように地道で堅実な努力こそが新たな活路を拓くことを忘れず、ひたむきに、真摯に、皆様と一緒に、努力して参りたいと考えます。

多久市は「緑園に輝くまち 多久～時流を感じる 文教・安心・交流・協働のまち～」をめざしています。未来創造に挑む志と実践・協働。その一端を垣間見ていただけるように、また初めて多久市に出逢う方もよりよくご理解いただけるようにと思いを込めて市勢要覧を発行します。

これを御縁によりしくお願いいたします。

令和6年3月吉日

多久市長 横尾俊彦

PROFILE

よこお としひこ
多久市長 横尾 俊彦

佐賀県多久市出身。松下政経塾の第1期生。7期連続で多久市長を務める。趣味は読書、音楽、映画鑑賞。学生時代からのバスケットマン。座右の銘は「天命を信じて人事を尽くす」。

